

推薦 全日本交通安全協会

アルコールは、飲酒をした本人が思っている以上に長く体内に残る
この「酒気残り運転」の危険性を検証！ 飲酒運転は犯罪です
家庭、職場、地域、社会全体で飲酒運転根絶を！

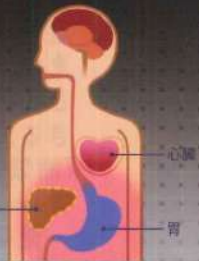
絶対にダメ！ 飲酒運転

「しない!!」「させない!!」「許さない!!」



アルコールの体内循環

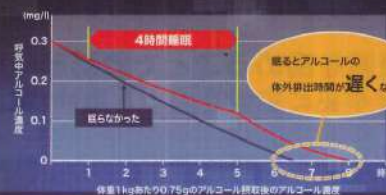
飲酒
↓
血管に吸収
↓
肝臓で分解
↓
脳に影響



飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める道族
・関係者全国連絡協議会 幹事

井上保孝・郁美夫妻

眠った時と起きている時のアルコール分解速度の違い



体重1kgあたり0.75mgのアルコール摂取後のアルコール濃度
※国立病院機構久米中央アルコールセンター(札幌医科大学札幌医科大学教授の共同研究)

指導

川崎医療福祉大学臨床心理学科

特任教授 金光義弘

カラー 21分 価格 DVD 66,000円

(字幕選択式/チャプター付)

※価格は本体価格です

絶対にダメ! 飲酒運転

「しない!」「させない!」「許さない!」

制作意図

飲酒運転による交通事故件数は、度重なる厳罰化、飲酒運転根絶に対する社会的気運の高まり等により減少してきたが、ここ数年下げ止まり傾向にあり、飲酒運転事故は後を絶たない。そこで本ビデオでは、アルコールが運転にどのような影響を与えるか、その危険性を再現ドラマを交え、CG、実験で明らかにします。特に「酒気残り」が運転に与える影響に注目し、体内のアルコール残量とドライバー本人の酔いの感覚とに大きなズレがあることを検証し、注意を促します。また、飲酒運転をするとどのような罰則が与えられるのかを分かり易く解説し、飲酒運転は犯罪であり絶対に許さない!と飲酒運転根絶を強く訴えます。

映画の内容

■ある飲酒運転死亡事故から

(再現ドラマ)

ある営業マンが飲酒運転によって、ひき逃げ事故を起こすまでの過程と心理

■飲酒運転の危険性:アルコールが及ぼす車の運転への影響

★「お酒に酔う」とは、アルコールによる脳のマヒ

情報処理能力、注意力、判断力の低下により、正常な運転は困難に

- ・「お酒に強い・弱い」と酔い・運転能力は無関係
- ・再現ドラマを交え、アルコールの影響と危険性を分かり易く解説

■飲酒運転に陥る危険性:アルコールは意外に残る!

★実験:体内のアルコール残量と酔いの感覚の検証

金光義弘教授らによる実験の結果、飲酒した数時間後、参加者の大半から呼気中アルコールが、また全員から尿中アルコールが検出された

ところが、同時に酔いの度合いを調べたアンケートでは「もう酔いがさめた」「いつも通り運転できる」と感じている人の割合が高かった

- ・「酒気残り運転」と「睡眠とアルコール分解速度」について解説
- ・アルコールの影響が残ったままで車を運転するとどうなるか
発見の遅れ、反応の遅れ、操作の遅れ

■飲酒運転に対する法整備

飲酒運転は犯罪 厳罰に処せられます

★道交法・自動車運転死傷処罰法を分かり易く解説

■社会全体の意識を高めることで飲酒運転根絶を……

飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事 井上保孝・郁美夫妻からのメッセージ

★どうしたら飲酒運転を防止できるのか、その対応策を具体的に提示します

お申し込み・お問い合わせは



有限
会社

博映商事



092-741-0306



092-741-6628

【HP】<http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】info@hakuei-shoji.jp 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220